SUS 天板で大理石のボウルの手洗いの製作について

今回の依頼は天板が SUS 天板の黒焼き付け塗装品で、その上に大理石の変形ボウルを置くものです。 また、大理石のボウルは変形で前面をどこにするか、実物をおいてお施主様に確認を取りました。 また、下記のように仕様、図面が確定しました。

仕様

ボウル: カネジン FF4012大理石SE 天板開口φ80

水栓: CERA HG15081Rクローム 穴開け φ35、締め付けtMax40

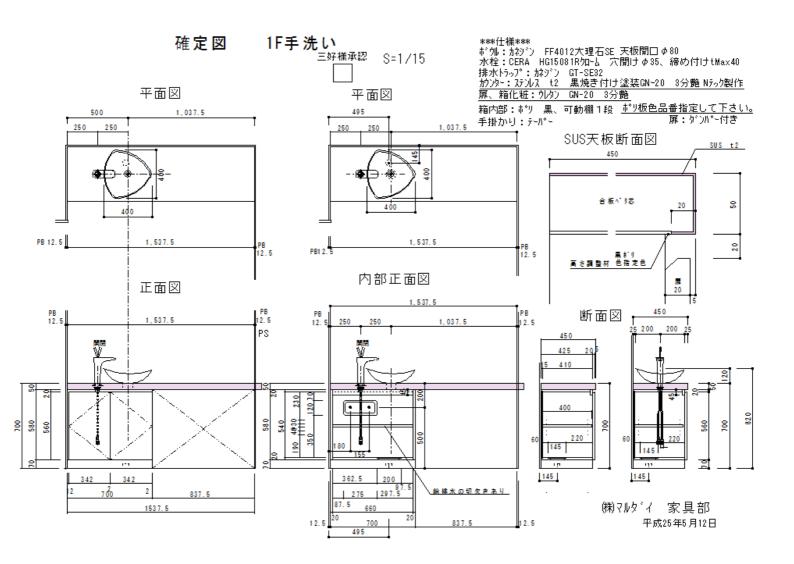
排水トラップ: カネシ、ン GT-SE32

カウンター: ステンレス t2 黒焼き付け塗装GN-20 3分艶 Nテック製作

扉、箱化粧: ウレタン GN-20 3分艶

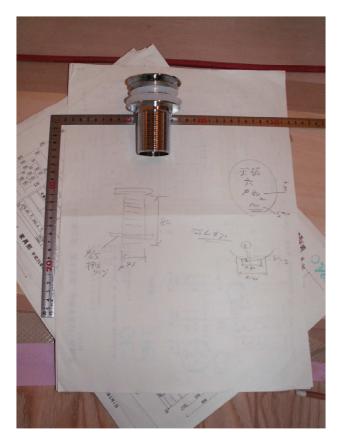
箱内部:ポリ 黒、可動棚1段

手掛かり:テーパー 扉:ダンパー付き



1. 大理石の変形ボウル形状、向きの確定。





ボウルの形状で前後、左右を確定し、背面壁から の排水芯を決定する。

また排水芯から水栓芯を確認。

さらに排水金具から天板穴あけ寸法の割り出し等 を行いました。 2. SUS 黒焼き付け塗装(日塗工 GN-20)に合板芯裏貼り。

この際、家具の塗装ウレタン艶消し(GN-20)と色確認したところ、SUS 天板の方が少し黒く仕上がっているため、家具の塗装を再度調整しました。

多少予想はしていましたが、GN-20 指定色でも塗る物によって、工場、温度等によりバラツキが出ます。

3. 仕上がり。





SUS 天板の黒焼き付け塗装は 家具塗装とも色は合っています。 また、変形ボウルも依頼通りの配置で 収まり、それなりの趣を演出しています。



